

かどまし ギ ガ せいび かんりょう 門真市G I G Aスクール整備が完了しました。 ひとりいちだい つか がくしゅう はじ 1人1台パソコンを使った学習が始まります。

ひころ ほんしがっこうきょういく りかい きょうりよく まこと
日頃は本市学校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、きゅうそく ぎじゅつかくしん すす げんだいしゃかい こ どもたち まな アイシーティ き き
さて、急速に技術革新の進む現代社会において、子どもたちの学びもICT機器を
かつよう がくしゅうけいたい てんかん もと しゃかい い こ
活用した学習形態への転換が求められています。また、これからの社会を生きる子ども
たちは、アイシーティぎじゅつ かつよう たよう かだい かいけつ ししつ のうりよく たか
も私たちは、ICT技術を活用しながら多様な課題を解決する資質・能力を高めること
もじゅうよう
も重要になります。

ほんし
本市では、パソコンをより効果的に学びに活用できるよう、れいわにねんど ぜん
しょうちゅうがっこう たいしゅう ギ ガ こうそう がっこうアイシーティせいび おこな
小中学校を対象に、G I G Aスクール構想による学校ICT整備を行いました。

れいわさんねんど アイシーティ き き かつよう じゅぎょう がくしゅう すす
令和3年度からはこれらのICT機器を活用した授業や学習を進めてまいりたい
かんが
と考えております。

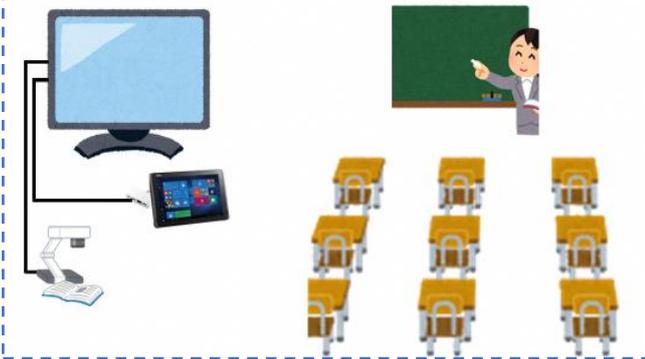
かどましきょういくいいんかい
門真市教育委員会

ひとりいちだい れいわ まな
1人1台パソコンは「令和の学びのスタンダード」
い えんぴつ おな
と言われ、鉛筆やノートと同じように、パソコンや
アイシーティ き き かつよう まな か
ICT器機を活用した学びへと変わっていくことが
きたい
期待されています。



教室が大きく変わりました！！

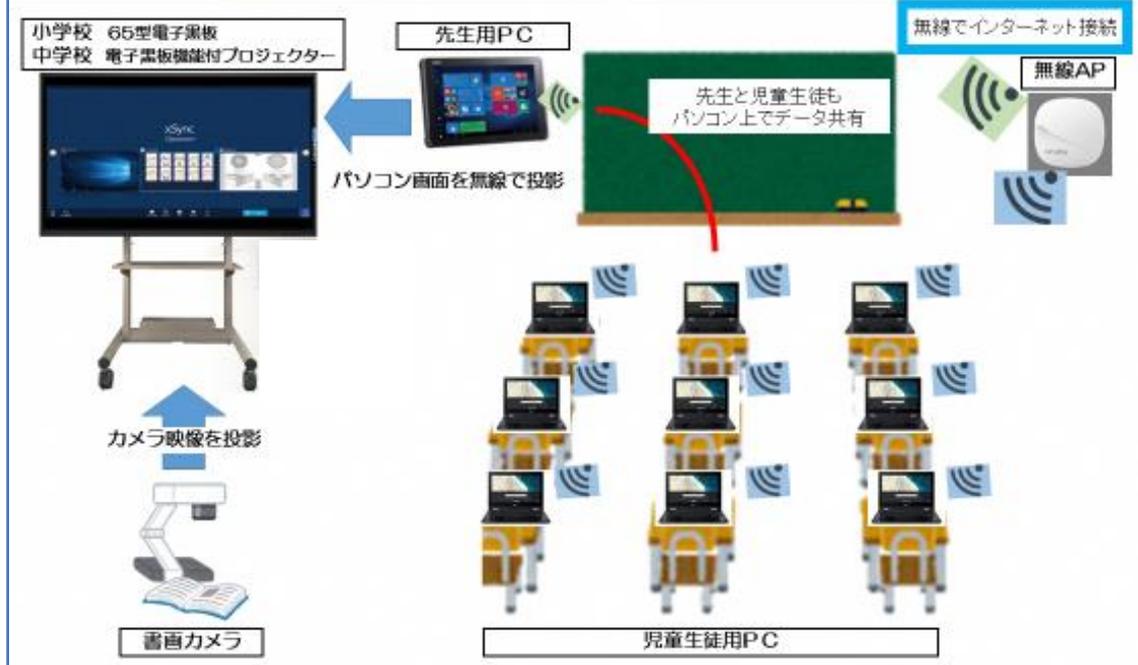
従来の教室イメージ（現状）



←これまでは、黒板の板書に加えて先生のパソコン画面をテレビ等に映すことはできました

これからは、授業中にパソコンでの調べ学習、先生との画面共有、課題提出等ができるようになります
電子黒板は映した上に自由に書込できます

タブレットPC（無線LAN接続）と電子黒板を活用する教室のイメージ



ひとりいちだい 1人1台パソコンや電子黒板を使った授業が可能になります！

ひとりいちだい 1人1台パソコン

- 各教室で授業、自主学習、グループ学習等にパソコンを活用できる
- 先生と子どもたちは、パソコン上で課題の配布や提出等やりとりができる

大型電子黒板

- 指や専用ペンで、画面に直接文字や絵が描ける
- 教材、動画、写真、パソコン画面を大画面共有
- 投影した上からも文字や図形を重ねて描ける

小学校はテレビ型の電子黒板を採用

中学校は電子黒板機能付プロジェクターを採用

校内LAN等の無線化

- 無線（コードレス）かつ高速でインターネットやアプリを利用可能
- 電子黒板へのパソコン画面投影も無線で使用可能

ギガ ころそう かどまし GIGAスクール構想により門真市がめざすもの

だれひとり と のこ 残すことのない一人ひとりに応じた **個別最適化**された学びの実現



こくばん いっせいじゅぎょう あじが
黒板での一斉授業とはひと味違う
たよう こ どもたち ひとり ひとりの 理解や 関心
に合わせた学習が可能に！
サポートが必要な子どもたちにも、個別の
対応が可能に！

じだい ひつよう じょうほうかつようのうりよく もんだいかいけつがた しこう など
これからの時代に必要な **情報活用能力、問題解決型の思考プロセス**等

がくしゅうきばん ししつ のうりよく いくせい
学習基盤となる資質・能力の育成



かだい たい ひつよう じょうほう しゅうしゅう ちから
課題に対して、必要な情報を収集する力
や自ら解決に向かう思考や力を育むこと
が普段の授業の中でパソコンを活用して
可能に！

たの わ じゅぎょう
より楽しく・より分かりやすい授業づくり

ひょうげん きょうゆう きょうどうき たいわてき じゅぎょう
アイデア・表現を共有できる **協働的・対話的**な授業づくり



しゃしん どうが おんせいなど かつよう きょうみ かんしん
写真や動画、音声等の活用で興味・関心を
高め、「わかりやすい」授業が可能に！
画面の共有や様々なアプリの活用で協働
作業や他者の考えや意見を知り、対話的
な授業が可能に！

かんせんしょう しぜんさいがい きゅうこうなど きんきゅうじ がくしゅう けいぞく
感染症や自然災害による休校等、**緊急時における学習の継続**



きゅうこうなど じたく
休校等により自宅にいても・・・
コミュニケーションツール活用で先生やクラ
スマートと情報共有が可能に！
動画配信やオンラインツールでリモート
授業が可能に！
イーアイ など こべつがくしゅう かのう
AIドリル等で個別学習が可能に！

かどまし こ つか なん
Q. 門真市の子もたちが使うパソコンは何ですか？



A. 門真市は、児童生徒用パソコンにクラウドブックを採用しました。
また、学習に利用するアプリケーションや、先生と子どもたちがパソコン上でやりとりするサービスとして、G suite for education（ジースイートフォーエデュケーション）を活用します。



Q. パソコンでどんなことができるようになるのですか？



A. 文章作成、発表資料作成、情報収集等、アプリを使って授業中の個別学習やグループ学習、自主学習の際に活用します。また、デジタルドリルを使うことで、これまで紙と鉛筆で行っていたプリント課題等をパソコンで行うことが可能になります。



いえ も かえ
Q. 家には持って帰ってきますか？



A. まずは子どもたちが操作や学習手順を身につける必要があることから、当面の間は、学校内での利用に限定します。パソコンを持ち帰り、家庭学習にも活用することで、より学習の効果が発揮できると考えていますので、持ち帰りの運用やルールについても今後定めてまいります。



ジースイートフォーエデュケーション りよう クラウドブック・G suite for educationの利用にあたって

クラウドブック・G suite for educationを利用するにあたり、下記（１）～（４）の個人情報システム上に保管することとなるため、子どもたち一人ひとりに個別のアカウントとパスワードを配付します。各個人がログインすることによりサービスを利用することができます。

門真市では、本サービスを活用した学習を進めてまいりたいと考えておりますので、お子様の利用についてご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

- (1) 児童生徒名
- (2) 児童生徒の学習記録（課題、ワークシート、レポート、作品等）
- (3) 児童生徒の学習活動の記録（学習等で撮った動画や写真等）
- (4) (1)～(3)の一覧や統計データ

子どもたちには、機器の使い方はもちろん、パソコンやインターネットを安全に、上手に活用するために必要な教育も合わせて進めていきます。

例) セキュリティ意識、自己の情報管理、情報モラル等

かどましきょういくいいんかい きょういくぶ きょういくきかくか
門真市教育委員会 教育部 教育企画課

TEL 06-6902-5779 FAX 06-6900-2323